

審判上の確認事項

大会審判委員長

1 競技規則について

(1) 競技委員長の「競技運営上の確認事項」に従うこと。

(2) テクニカルタイムアウト（以下：TTO）について

① TTOは、選手の健康観察と安全管理を目的とする。このため選手は、ベンチ横側のフリーゾーンに位置し、ベンチスタッフは、選手が給水や汗拭きできる環境を整えるとともに、選手に給水を促し、健康状態を観察すること。

② チームスタッフが選手に話しかける場合には、選手の位置する場所で行うこと。選手をベンチ前に呼び寄せる行為は禁止する。

③ TTOの間、控え選手を含めた選手は、給水を優先することとし、モップ掛けやウォームアップは行わないこと。なお、モップをかける場合はチームのスタッフ（大人）であれば行うことができる。

④ 第1、第2セットでは、リードしているチームが11点に達した時、第3セットは、リードしているチームが8点に達し、コートチェンジした時に適用する。デュースが続く場合、第1セットと第2セットは、両チームが25点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた時に適用する。また、第3セットは、両チームが21点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた時に適用する。

(3) 靴紐を結ぶ場合は、試合進行の妨げとならないよう、ボールデット間に速やかに結ぶこと。

なお、レフェリーに靴紐を結ぶことを申し出る行為は、ルール上の遅延行為にあたるため行わないこと。

2 コートワイピングについて

(1) チームは、コートに入る複数の選手にワイピング用のタオル等を携行させ、床が汗等で濡れた場合は、先ずコート内の選手が拭くように指導しておくこと。

(2) 試合中床がひどく濡れた場合であっても、ラリー間でのモップの使用は、審判の指示がある時のみとする。

(3) チームは、試合開始前やタイムアウト中およびセット間には、コートのモップ掛けにより安全確保に努めること。

3 スコアラー及びコートオフィシャル（ラインジャッジ・点示員）について

(1) チーム相互審判として以下のとおり行う。

ファーストレフェリーとセカンドレフェリーは公認審判員で行う。

第1試合

各コートの第2試合の両チームで行う。

コートオフィシャル各4名・スコアラー1名

第2試合

各コートの第1試合の両チームで行う。

コートオフィシャル各4名・スコアラー1名

第3試合

各コートの第4試合の両チームで行う。

コートオフィシャル各4名・スコアラーは公認審判員が行う。

第4試合

各コートの第3試合の両チームで行う。

コートオフィシャル各4名・スコアラーは公認審判員が行う。

第5試合

各コートの第4試合の勝者両チームで行う。

コートオフィシャル各4名・スコアラーは公認審判員が行う。

該当するチームが2チームで行う時は、コートオフィシャルが両チームから各4名ずつ割り振られるように配慮する。ラインジャッジは各チームから2名を出して行うこと。

- (2) スコアラーは、担当チームの責任においてスコアラーの経験があるなど、確実に任務を果たすことができる人員を選出すること。（選手・大人は問わない）
- (3) スコアラーは青色ボールペン（フリクションインク不可）と短い定規を用意し、使用すること。
- (4) スコアラーの処理に間違いが起らないよう、補助員としてスコアラーの隣にチーム関係者1名が座ることを認める。その際、ボール拭きなどセカンドレフェリーからの依頼にも協力すること。
- (5) コートオフィシャルは、担当チームの責任において登録選手のうち任務を果たすことができる人員を選出すること。なお、登録選手が少なく、点示員が低学年になる場合に限り、その補助として構成メンバーとして有効に登録されたチームスタッフがフロアに入ることを認める。
- (6) コートオフィシャル含め審判団のマスク着用は、任意とする。
- (7) チームは、コートオフィシャルに給水ボトルを持たせるなど、健康と安全管理を徹底すること。
TTOにはすすんで給水するよう指導しておくこと。

4 レフェリーミーティングについて

各コートの試合開始前に記録席において、ファーストレフェリー、セカンドレフェリー、スコアラー、コートオフィシャルによるミーティングを行う。その際、必ず全員が記録席前に集合すること。

5 その他

(1) 中断の要求について

- ① タイムアウトの要求は、レフェリーに対しハンドシグナルを明確に示すこと。
- ② 選手交代を要求する際は、選手交代ゾーン内に確実に入るよう指導すること。
- ③ 複数の選手交代を要求する際は、同時に（間を空けず連なって）選手交代ゾーンへ入るよう、選手に指導すること。

(2) 暴力・暴言などの行為について

- ① ベンチスタッフ及び選手によるコート内外における暴力、暴言等については厳に慎むこと。
- ② 万一、当該行為があった場合にはルールに則り制裁する。

以上